

長年の夢実現、海上自衛官から漁業者の道へ

志々伎漁業協同組合 大久保 博史さん 44歳

漁業暦1年

大久保さんは、イカやブリなどを対象とした一本釣りを営まれています。

大久保さんは、現在、平戸島の南部にある志々伎地区で、一本釣り漁業者として日々奮闘しています。佐賀県で生まれ育ち、高校を卒業してから22年間、佐世保市にある海上自衛隊で勤務していましたが、子供の頃からの夢であった漁業への想いが数年前から強くなり、40歳となった年に一念発起、漁業者の道へと飛び込みました。魚釣りが趣味だった大久保さんは、釣り愛好家の間では聖地とされる平戸島を迷うことなく永住の地として選択しました。平戸に来て今年で4年目と、まだ日は浅いのですが、漁業に対する情熱は強く、「非常にまじめで優秀な1ターン漁業者だ」と、地元の漁業関係者からも認められている存在です。大久保さんは、「漁船も手に入り、やっとスタートラインに立ったところ」と決意を新たにしています。将来的には、釣り客を対象とした遊漁船業も営む予定とのこと。



地図



経歴

18歳

高校卒業後、佐世保で海上自衛隊に入隊。

40歳

自衛隊を退職。漁業技術習得のため、県の事業(生活費の助成)を活用して研修開始。

43歳

研修終了後、自費で漁船購入、独立一本立ち。

大久保さんの一日

大久保さんは、年間を通して一本釣り漁業を営んでいます。春から夏場のケンサキイカを主体として、ブリ、ヒラマサ、サワラ、マダイ、クエなど、海況や漁模様を考慮して、対象魚を変えています。ケンサキイカの漁場は主に、平戸島沖合の五島灘なので、夕方から明け方までの操業ですが、ブリ、タイ、クエなどの漁場は比較的遠いため、沖泊まりして4~5日間出っぱなしの時もあります。

ケンサキイカ漁の様子



年間操業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ケンサキイカ			←										
ブリ・ヒラマサ・サワラ	←										←		
マダイ・クエ									←				

イカ	ブリ・タイ等
操業	0:00
帰港	1:00
箱立・出荷	2:00
	3:00
	4:00
	5:00
	6:00
	7:00
	8:00
	9:00
	10:00
	11:00
	12:00
	13:00
	14:00
	15:00
	16:00
	17:00
	18:00
	19:00
	20:00
	21:00
	22:00
	23:00
	24:00

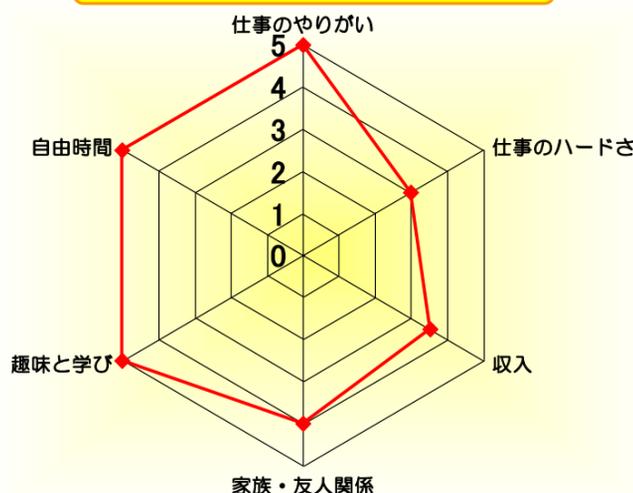


佐世保市内の釣具店に展示してある7.6kgの立派なイシダイ剥製

余暇の過ごし方

仕事での釣りは自分の漁船に乗って行きますが、休日に行う趣味の釣りは、自衛隊時代から馴染みの瀬渡し船に乗って行きます。五島列島などの磯からイシダイやクエなどの大物を狙って釣りを満喫しています。これまでに、25kgのクエや7.6kgのイシダイを釣り上げました。磯釣りで釣れた魚は、自ら捌いて食べたり、魚拓を取ったりするだけでなく、剥製にして釣り具店等に提供しています。環境保全活動への関心が高く、これからは、漁協の青年部や地域の活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

大久保さんの本音チャート



師匠(里崎良昭さん)の声

大久保さんは、何より釣り好きなので、あとは漁師としての勘を磨けば、すごい漁師になれると思います。これからは、趣味としてでもいいのですが、漁で生活していくんだという強い意志をもって、漁師として成功してもらいたいです。漁師は、自分のがんばり次第で、稼ぎが大きくなるし、仲間同士の絆も深く、魅力ある、やり甲斐のある仕事だと思います。本当に最高の仕事だと思います。

これから漁業を目指す方へ

まず、興味がない事は長続きしません。私の場合は、研修先にも恵まれ、県の事業(生活費の助成)はとてもありがたく、充実した独立準備を行うことが出来ました。海が好き人は、ぜひ漁業の道を目指し、頑張ってください。